2026 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

キックオフ特集

丹精込めて育てた花が、癒やしと安らぎを届けてくれる 花とみどりに人が集い 地域ににぎわいと潤いを

市民・企業・行政が一体となり、杜の都のみどりを未来につなぐことを目的に展開している「あしたのみどりキャンペーン」は、今年18年目を迎えました。昨年秋には、市内の公園を拠点に活動する2つの市民グループに、花壇造り支援を行いました。みどり豊かな季節を迎えた今、それぞれの花壇がどのような姿を見せているのか。支援後も精力的に活動している団体の取り組みとともにお伝えします。

仙台ばら会（貝ヶ森中央公園）

歩いて、香って、体験できるバラ園に

バラの魅力を凝縮したガーデンは癒やしの空間

仙台市青葉区の住宅街にある貝ケ森中央公園は、芝生の広場に加え、池や遊歩道が整備された自然あふれる公園です。そんな広々とした敷地の南側に、仙台ばら会が手がけるバラ園があります。訪れた5月下旬はバラのハイシーズン。濃淡さまざまな赤やピンク、黄色の花が園内を彩り、顔を近づけると上品な香りが心を癒やしてくれます。つるバラを誘引したアーチやアイアンの柵、園のシンボルとなるガゼボ（西洋風の東屋）は、昨年11月にあしたのみどりキャンペーンの支援を受けて設置されたもの。その後も、定期的に剪定（せんてい）や植栽、施肥などを行い、見応えのあるガーデンを造り上げました。入り口のアーチには、ハンガリー作出の貴重な品種「聖エリザベス」が咲き、ゴージャスで気品ある香りが訪れた人を出迎えます。

入り口のアーチには聖エリザベスが咲き、その先には、さまざまな品種のバラが見頃に

「たくさんの方にバラの魅力を感じてほしい」と中里さん

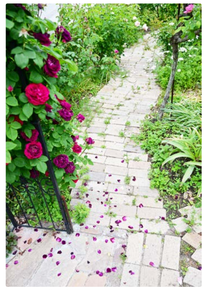
「殿堂入りのバラも加わりさらに楽しいバラ園に」

「地域の方が、きれいだねと言いながら見てくれているのが本当にうれしいですね。農薬を極力抑えているので、思う存分天然のアロマを楽しんでほしいです。バラは朝の方が香り高いんですよ」と話すのは、仙台ばら会の中里大悟さん。バラ好きだった祖母の影響で栽培を始め、品種ごと異なる香りに魅了され、「香りのあるバラを極めよう」と決意、和気あいあいと活動した。中里さんは、「私が入会した当時は一般的な花壇でしたが、今ではアーチにバラが咲き、花壇の中を歩けるレンガ道や力ゼボもある、動きのあるバラ園になりました。地域の皆さんが楽しむ姿を想像しながら、みんなでアイデアを出し、形にしていく作業が楽しいですね。仙台市内で気軽に見られるバラ園はあまりないので、多くの方に見ていただきたい」と笑顔で語ります。

仙台ばら会では、「殿堂入りのバラが楽しめるバラ園」というコンセプトを新たに設け、「世界バラ会議で選ばれた「栄誉の殿堂入りのバラ」を力ゼボの周りに植栽しました。今は小さな株ですが、2～3年後には美しい殿堂入りのバラと花香に囲まれた力ゼボへと成長することでしょう。園内に植えられた約100種類のバラは、季節の移り変わりとともに次々と花を咲かせ、冬の入り口まで楽しませてくれます。

また、イベント活動にも積極的な同会は、5月30日、31日に七北田公園都市緑化ホールで「春のバラ展～暮らしにバラを～」を開催しました。バラ園の花や会員が庭で育てた殿堂入りのバラなど、見どころ満載の展示に多くの人が足を止め大盛況。今後の展開にも期待が高まっています。

「春のバラ展」に参加した仙台ばら会の皆さん。展示の準備中もおしゃべりが止まらないほど、メンバー全員が仲良く活動しています


美しく咲いた花と、豊かな香りに囲まれながらレンガ道を歩くと、園のシンボルとなるガゼボに到着。この白いガゼボが殿堂入りのバラに包まれる6日が待ち遠しい

「春のバラ展」には、小さな子どもからシニアまで幅広い世代が来場。興味深く見入っていました

真紅のバラが伝ったアーチも見どころの一つ。非日常感が楽しめます

将監ふれあい公園

花も笑顔も咲き誇る地域の新たなシンボル

多様な世代が集まり花から始まる地域交流

昨年7月のリニューアルオープン以来、地域の憩いの場として親しまれている仙台市泉区の将監ふれあい公園。敷地内には、夢中で遊び回る子どもたちや幼児を連れたファミリー、散歩を楽しむ高齢者など、さまざまな世代で常ににぎわっています。そんな公園の癒やしのスポットになっているのが、円状に配置された4つの花壇です。あしたのみどりキャンペーンの支援を受け、地域の皆さんの手で苗の植え付けを行ったのが昨年11月。それ以降も、ふれあい公園管理運営委員会を中心に、きれいな花が咲くことを願って、水やりや追肥などの手入れを続けてきました。春の陽気を待って花壇一面に咲いた花々は、公園の中でひときわ輝いています。

きれいな花をたくさん咲かせてくれると、花壇の手入れにも一層力が入ります

カラフルな花壇に感動 季節の変化も楽しみ

桜の見頃を迎えた4月11日、花壇にはふれあい公園管理運営委員会の有志の姿がありました。「こんなにきれいな花壇になるなんて、想像以上で感動です」と皆さん。4つの花壇ではそれぞれ、チューリップやパンジー、ビオラなどが色を合わせて咲き誇り、訪れた人の目を楽しませています。この日の作業は、咲き終わった花を取り除く花がら摘みと、液体肥料による施肥、そして隙間を埋める植栽など。花をできるだけ長く楽しんでもらうための手入れです。

参加していた同委員会の齋藤久美子さんは、「花壇のそばにベンチがあるので、公園に来た方はいったんここに立ち寄るのが定番になっています。花を見て、きれいだねと言っていただけるのがうれしいですし、子どもたちの声を聞きながら花壇の手入れをしている時間は、とても穏やかな気持ちになりますね」とにっこり。同委員会委員長の及川信彦さんも、「見事な花壇ができて、改めてあしたのみどりキャンペーンの支援に感謝しています。公園が地域みんなのものであるのと同じように、この花壇もみんなのもの。誰でも手入れのお手伝いができるような仕組みを考えているところです」と話します。ここ将監は、毎年桜まつりや夏まつりなどが行われ、そのたびにみんなで協力し合う風土が根付いています。及川さんは、「公園が、地域の中心的な場所になること、そして花壇がそのシンボルになるように、今後も活動を続けていきます」と意気込みを語ってくれました。

今後は夏に咲く花の植え替え作業を予定しています。これからも、花壇の周りには多くの人が集まり、地域交流の輪が広がっていくことでしょう。

あしたのみどりキャンペーンでは、これからも仙台がみどり豊かな杜の都であり続けることを願い、市民の皆さん一人一人の、みどりを育むための活動を応援していきます。

「地域で大事に維持していきたい」と話してくれた及川さん

「夏の花も地域の皆さんに楽しんでほしい」と齋藤さん

子どもたちの元気な声が響く将監ふれあい公園。散歩に訪れたお年寄りと子どもが自然と交流できる場所となり、花壇も会話のきっかけに

©あしたのみどりキャンペーン

企画・制作／河北新報社営業局

ふるさとの杜再生プロジェクト

第一回グリーンインフラ大賞受賞

自然共生サイト認定 30by30

プロジェクトの目的・目標

東日本大震災で失われたみどりの再生に加え、復興の過程で生まれる新しいみどり（=ふるさとの杜）を市民協働で植え育てることで、やがて防災や環境保全の機能を持つ東部地域固有の風景を再生し、市民の暮らしに根差したみどりを創造します。

また再生した「ふるさとの杜」を活用し、レクリエーションや文化活動を行うことで市民の心のふるさとを育てることを目指します。

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議ホームページ

育樹会

＼30分からできる「ちょいボラ」／

参加費無料 各回事前申込不要

虫対策のため帽子・長袖・長ズボンを着用してください
育樹会持ち物／汚れてもよい服装、帽子、手袋、長靴、飲み物、タオル

会場 高砂中央公園西側「見晴らしの丘」周辺

時間 9:00～12:00 育樹作業（時間内参加・解散自由）

同時開催 自然に親しむミニイベント 10:30～11:30（先着15名、当日9時より現地にて受付）

第50回育樹会／開催日9月19日(土)
ミニイベント わくわく生きものかんさつなど

第51回育樹会／開催日10月17日(土)
ミニイベント クラフト体験など

育樹会事務局：海岸公園センターハウス
TEL：022-288-4021
（9:00～17:00、火曜日休館）
※荒天の場合は翌日に順延となります。開催の可否は海岸公園センターハウスblogで当日ご確認ください。➡

小学生・中学生ボランティア大募集！
ボランティア活動参加証明書を発行！
みんなでみどりを育てよう！

東北学院高等学校 5月27日(水)・5月28日(木)・5月29日(金)・6月19日(金)
広葉樹植栽エリアの除草作業を終え、全員で記念撮影

東北大学 5月16日(土)
育樹サポーターとともに除草に取り組む学生たち

育樹会（一般参加） 5月16日(土)・6月20日(土)
スタッフから説明を受けながら、除草を行う参加者

企業版育樹活動 6月14日(日)
宮民連携による地元のプロスポーツチームや民間企業による育樹活動

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト 育樹活動のようす in 海岸公園 岡田砂原地区

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8392 メール：ken010242@city.sendai.jp

「杜と水辺」を守る活動を応援

50年後も100年後も、杜の都のみどりと広瀬川の自然を未来につなげ、一人一人に、みどりを育む活動を広げることを目指し展開します。

2026あしたのみどりキャンペーン 本日スタート！ 12.31(Thu)まで

WEBサイトはこちら https://www.a-midori.jp あしたのみどり 検索

お問い合わせ先
河北新報社営業局業務推進部 TEL…0570-093746 受付時間…10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

お気に入りの写真を投稿してください わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、水辺、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入り人の場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間：9月30日(水)まで
公開期間：6月26日(金)～12月31日(木)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも！
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。

市民の皆さんの植樹・花壇造りを支援します 希望団体募集

仙台市内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇造りなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育むために活動している皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募方法 あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間：7月31日(金)まで
植樹・花壇造り支援 実施時期：9～11月（予定）
実施数：1カ所を予定
実施費用：無料

応募には条件があります。詳しくは、WEBサイトでご確認ください。